中部地方

名前

問1　静岡県の牧之原などの台地では、明治維新によって職を失った士族（旧幕臣）や川越人足らによって大規模な土地の開墾が行われ、現在の日本を代表する農業景観が形成されました。この地域で行われている農業の背景と特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
（2022年 奈良県公立入試 類似）

1. 平坦な低地を活かして大規模な水田が整備され、稲作の機械化が進んだ。
2. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスを用いたメロンの促成栽培が行われた。
3. 水はけの良い台地の特性を活かし、輸出用や国内消費用の茶の生産が拡大した。
4. 都市部への出荷を目的とした、キャベツなどの近郊農業が中心となった。

問2　中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 海岸平野
2. リアス海岸
3. 三角州
4. 砂州

問3　人口約119万人の県庁所在地を持つこの都道府県の都市交通について、1994年以降の動向や公共交通機関の特徴を説明した文として、正しいものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 都心部の交通渋滞を解消するためにすべての路面電車が廃止され、1994年からは地下鉄網の整備に一本化された。
2. 県庁所在地では路面電車に代わる移動手段として、山間部から都心へ木材を運搬するための貨物専用鉄道が1994年に開通した。
3. 1994年以降、東海道新幹線のすべての駅と県庁所在地を結ぶリニアモーターカーが丘陵地を貫いて運行されている。
4. 県庁所在地では路面電車が運行されており、1994年以降は丘陵地の住宅地と都心を結ぶ新たな鉄道も導入されている。

問4　長野県などの中央高地では、標高が高い地域の冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの生産が盛んに行われています。平地の出荷時期が過ぎた夏から秋にかけて出荷時期を遅らせるこの栽培方法の名称として、最も適切なものを選択してください。（2021年 高知県公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 二毛作
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問5　太平洋に面した浜松市のデータでは、1月の平均気温が6度を超えて温暖であり、夏に降水量が多くなる特徴が示されています。このような「太平洋側の気候」において、冬の天候を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 湿った季節風の影響を直接受けるため、曇りや雨の日が多くなる
2. 周囲を山に囲まれているため、雪も雨もほとんど降らず、年間を通して気温の変化が小さい
3. 寒流の影響を強く受けるため、冬は非常に冷え込み、沿岸部では霧が発生しやすい
4. 北西の季節風が山脈を越えて吹き降りるため、晴天の日が多く乾燥する

問6　四日市市などの工業都市を擁する三重県の工業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 高度な技術を要する印刷業が、重化学工業の出荷額を上回る規模で成長している。
2. 伝統的な繊維工業が、現在でも県全体の工業出荷額の過半数を占めている。
3. 輸送用機械や化学、石油・石炭製品などの重化学工業が中心となって発展している。
4. 出荷額において、パンや清涼飲料水などの食料品工業が最大の割合を占めている。

問7　静岡県において製紙・パルプ工業が全国有数の規模にまで発達した理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. 海外から輸入した木材チップを加工するために、県内に大規模な製鉄所が隣接していたため
2. 三方ヶ原などの台地において、原料となる木材の植林が大規模に行われたため
3. 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため
4. 古くから発達した織物機械の技術を応用し、高度な自動化が進んだため

問8　長野県は中部地方の内陸部に位置し、かつては時計やカメラなどの精密機械工業が盛んでした。この伝統的な技術的背景を基盤として、現在、県の製造品出荷額等で最も大きな割合を占めている工業分野を選択してください。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 電子部品・デバイス工業
2. 食品工業
3. 鉄鋼業
4. パルプ・紙工業

問9　近年、日本の地方都市では、自動車への過度な依存を抑え、鉄道やバスなどの公共交通機関の拠点周辺に行政・福祉・商業などの機能を集約させる都市づくりが進められています。このような、徒歩や公共交通で日常生活に必要な機能を利用できる効率的な都市形態を何と呼びますか。
（2024年 東京都公立入試 類似）

1. コンパクトシティ
2. メガロポリス
3. ニュータウン
4. スマートシティ

問10　近代日本の長野県において、製糸業が地域の主要な産業として発展した背景や地理的要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 鉄道網の整備により、日本海側から運ばれる石炭を燃料とした重化学工業が内陸部で発展したから。
2. 冷涼な気候を利用した茶の栽培が盛んになり、輸出用の茶葉を加工する拠点として発達したから。
3. 外国から輸入した安価な綿花を加工し、大量の綿織物を輸出するための大規模な工場が集まったから。
4. 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と養蚕が行われたから。

問11　愛知県を中心とする中京工業地帯の統計において、工業出荷額の54.2%という過半数の割合を占めている、この地域を象徴する製造分野の名称として適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 電気機械
2. 金属工業
3. 化学工業
4. 輸送用機械

問12　静岡県南東部に位置する伊豆半島の自然環境について、その地形的特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 火山が多く見られる山がちな地形で、海岸線はリアス海岸のように入り組んでいる。
2. 海岸沿いに大規模な砂丘が発達しており、内陸部に向かって緩やかな台地が続いている。
3. 石灰岩が雨水などで侵食されてできた、カルスト地形と呼ばれる特殊な岩石地帯である。
4. 大規模な河川による堆積作用で形成された、広大で平坦な沖積平野が広がっている。

問13　北陸新幹線が福井駅から軽井沢駅の間を走行する際、車窓からは中部地方特有の険しい山岳景観を望むことができます。この路線の北側に広がる飛騨山脈が、周辺地域の生活や産業に与えている影響や特徴を説明したものとして、背景や位置関係が最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. 飛騨山脈は標高が低く平坦な土地が多いため、新幹線の沿線には広大な工業団地が形成されている。
2. 飛騨山脈は太平洋側に位置しているため、冬には乾燥した季節風を遮り、北陸地方に晴天をもたらす要因となっている。
3. 飛騨山脈は四国地方と中国地方の境界をなしており、古くから交通の要所としてトンネル整備が進んでいた。
4. 飛騨山脈は大規模な砂防ダムや水力発電所が建設されるなど、急峻な地形を利用した開発が行われてきた。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 水はけの良い台地の特性を活かし、輸出用や国内消費用の茶の生産が拡大した。	静岡県の茶の生産は、明治時代以降、輸出用の商品作物として大規模な台地の開墾が進められたことで発展しました。茶は水はけの良い土地を好むため、牧之原のような台地は栽培に適しています。また、東名高速道路などの交通網が整備されたことで、全国への出荷が容易になったことも生産を支える要因となりました。
問2	答え 2 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問3	答え 4 県庁所在地では路面電車が運行されており、1994年以降は丘陵地の住宅地と都心を結ぶ新たな鉄道も導入されている。	都市部における交通形態は、その土地の歴史や地形的要因に強く影響されます。この地域では、古くから市民の足として親しまれてきた路面電車が現在も活用されている一方で、都市の拡大に伴って開発された丘陵地の住宅地から、官庁や商業施設が集まる都心部への通勤・通学を円滑にするため、1994年から新しい鉄道システムが運行を開始し、都市交通の多角化が進められました。
問4	答え 1 抑制栽培	夏でも涼しい高原の気候を活かし、他の地域での収穫が難しい時期に野菜を栽培して出荷する仕組みです。これにより、市場での供給が少ない時期に高い価格で販売することが可能になります。宮崎県や高知県で行われる、温暖な気候を利用して出荷を早める「促成栽培」と対比して理解することが重要です。
問5	答え 4 北西の季節風が山脈を越えて吹き降りるため、晴天の日が多く乾燥する	太平洋側の地域では、冬に北西の季節風が山脈を越える際、日本海側に雪を降らせて水分を失い、乾燥した空気となって吹き降ろしてきます。このため、浜松市のような太平洋側の地域では冬に晴天の日が多くなり、空気が乾燥するのが大きな特徴です。
問6	答え 3 輸送用機械や化学、石油・石炭製品などの重化学工業が中心となって発展している。	三重県の工業は伊勢湾沿岸を中心に発達しており、特に四日市市の石油化学コンビナートや、鈴鹿市などの自動車産業が県内の経済を支えています。これらは重化学工業に分類され、製造品出荷額においても輸送用機械、化学、石油・石炭製品の順に高い割合を示しており、食料品や印刷といった軽工業分野に比べて圧倒的な規模を誇ります。
問7	答え 3 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため	製紙・パルプ工業は「立地要因」として水資源の確保が非常に重要視される産業です。富士山のふもとに位置する富士市周辺は、豊富な地下水や河川水が容易に得られたことから、大規模な工場が集まり、静岡県を代表する産業へと成長しました。
問8	答え 1 電子部品・デバイス工業	長野県では、戦前から戦後にかけて培われた時計やレンズといった精密機械工業の高度な加工技術が、時代の変化とともに電子部品やデバイスの製造に応用されました。内陸部という地理的条件において、製品が小型で軽量であり、高速道路を利用した輸送に適していることや、製造過程で不可欠な清浄な水と空気という環境が整っていたことが、この産業が県内最大の出荷額を誇るまでに発展した要因です。
問9	答え 1 コンパクトシティ	人口減少や少子高齢化が進むなかで、郊外に分散した都市機能を維持することは行政コストの増大を招きます。そのため、主要な駅やバス停の徒歩圏内に施設を集約し、公共交通を軸に結びつけることで、持続可能な都市を目指す取り組みが多くの自治体で検討されています。
問10	答え 4 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と養蚕が行われたから。	明治から大正時代にかけて、生糸は日本の重要な輸出商品でした。長野県は内陸の山間部に位置し、大規模な稲作が難しい土地も多かったため、傾斜地などでも栽培が可能な桑を植えて養蚕を行い、その繭から生糸をつくる製糸業が地域の基幹産業として大きく発展しました。この産業構造は、当時の土地利用を示す地図において「桑畑」の記号が極めて多いことからも裏付けられます。
問11	答え 4 輸送用機械	中京工業地帯は、愛知県、三重県、岐阜県にまたがる日本最大の工業地帯です。特に愛知県の豊田市などを中心とした自動車産業の集積が著しく、工業出荷額の構成比において輸送用機械が半分以上を占めるという、他の工業地帯には見られない際立った特徴を持っています。
問12	答え 1 火山が多く見られる山がちな地形で、海岸線はリアス海岸のように入り組んでいる。	伊豆半島は、かつて南方の海上にある火山島であったものがプレートの動きによって本州に衝突したという成り立ちがあるため、半島内に複数の火山が存在し、全体として非常に山がちな地形をしています。平地が少なく山地が直接海に迫っているため、海岸線は複雑に入り組んだ形状を示します。
問13	答え 4 飛騨山脈は大規模な砂防ダムや水力発電所が建設されるなど、急峻な地形を利用した開発が行われてきた。	飛騨山脈（北アルプス）は3000メートル級の山々が連なる急峻な地形であるため、冬の積雪が多く、急流を利用した水力発電が盛んです。また、土砂災害を防ぐための砂防事業も古くから行われてきました。北陸新幹線のルートはこの険しい山塊の北端付近を通っており、トンネル技術の向上によって安定した輸送が可能になりました。他の選択肢については、飛騨山脈が日本海側に近く、冬の湿った季節風を受けて北陸に豪雪をもたらす要因であることや、場所が中部地方であることを考慮すると不適切です。